

保護者 様

名古屋市立松原小学校長  
渡 邊 雅 広

## 学校教育に関するアンケート 集計結果

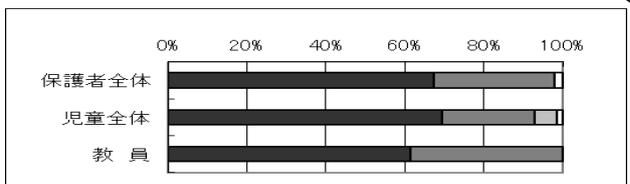
1月に実施しました「学校教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。保護者の他にも児童と本校教職員に同じ趣旨の設問でアンケートを行い、三者の結果を比較したものが下のグラフになります。

〈グラフについて〉

	：当てはまる		：ほぼ当てはまる
	：あまり当てはまらない		：当てはまらない

### 1 学校の楽しさ

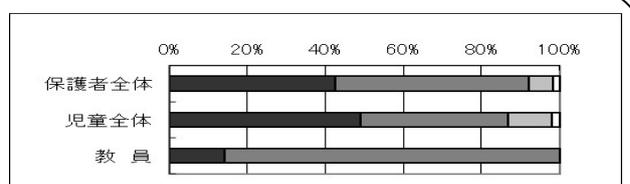
保護者： 子どもは、楽しく学校生活を送っている。  
児童： 学校は楽しい。



「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と感じている保護者、児童は90%を越えています。児童が楽しく学校生活を送ることができるように、「分かりやすい授業」を目指し、タブレット端末を活用したり、「困ったらいつでも相談」できるように、教育相談体制の充実を図ったりしていきます。今後も、それらを行っていくことで、一人一人が楽しいと思える学校を目指します。

### 2 学校努力点

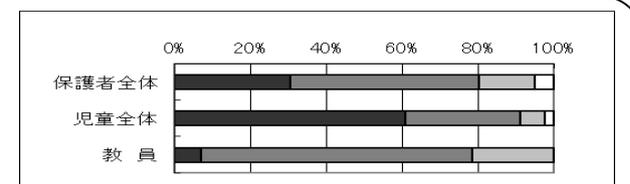
保護者： 学校は、学校教育努力点において、子どもたちが「自分の考えをもつことができるように」「対話をして考えを深めることができるように」、指導の工夫をしている。  
児童： 授業で自分の考えをもったり、友達と進んで話し合ったりしている。



「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と感じている保護者、児童は80%を越えています。今年度、「自分の考えをもつことができるように」「対話をして考えを深めることができるように」し、さらに思考を促すことができるように板書を工夫しました。板書された内容から、児童は、自分の考えを見直す姿が見られ、一定の成果をあげることができたと考えます。今後、これまでの成果を生かし、タブレットを活用していきたいと考えています。

### 3 学習指導

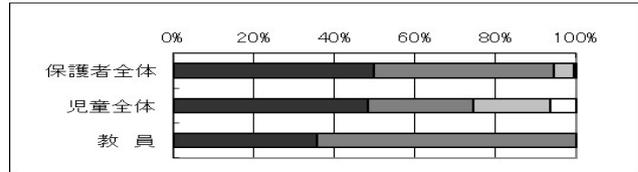
保護者： 学校は、分かりやすい授業を行い、子どもの学力向上に努めている。また、タブレットを中心としたICT活用を進めている。  
児童： 授業は分かりやすい。また、タブレットを使うことで学習の役に立っている。



「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と考えている児童は90%を越えています。保護者は80%を越えています。今後も、生き生きと学ぶ児童の育成にあたります。また、学校教育努力点の取組において、タブレット端末の効果的な活用方法を研究し、日頃の授業に生かしていけるようにしたいと考えています。

#### 4 教育相談

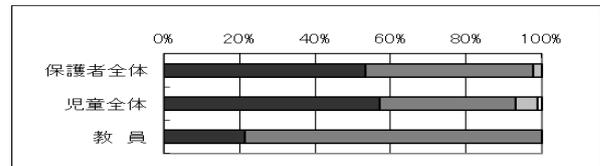
保護者： 学校は、教育相談期間を含め、子どもたちが困ったらいつでも相談できるように対応している。  
児童： 困ったことがあるときは先生に相談できる。



「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と考えている保護者は90%を越えています。児童は70%を越えています。今後、web-QUや学校生活アンケート等の結果から、具体的に児童へ支援することができるようにしたいと考えています。また、アンケート結果を踏まえ、ケース会議等に役立てていきたいと思えます。今後も教育相談やスクールカウンセラーの個別相談等、児童一人一人に寄り添った支援を継続していきます。

#### 5 生活指導

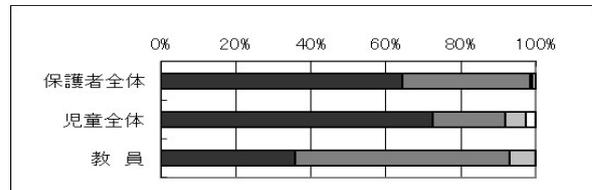
保護者： 学校は、子どもたちが学校のきまり(松原の約束)を守れるように努めている。  
児童： 学校のきまりを守っている。



「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と感じている保護者、児童は90%を越えています。このことから、しっかりと取り組むことができていると考えます。年度始めに、「松原の約束」「松原小 よい子の遊び場」等をもとに、学校内での過ごし方や遊び方のきまり等を児童に指導します。また、学期末ごとの生徒指導部会で、生活のきまりの確認等を行っていきます。

#### 6 安全指導

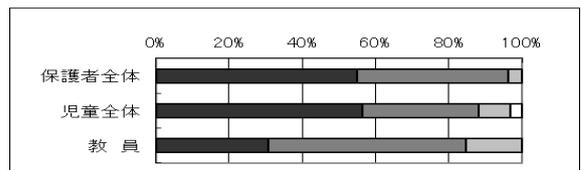
保護者： 学校は、子どもたちがマスクの着用や手洗い等の感染症対策をするように努めている。また、避難訓練や防犯訓練、校門の管理などを進め、子どもの安全確保に努めている。  
児童： マスクの着用と手洗いをきちんと行っている。また、避難訓練や防犯訓練で、自分の身の守り方を学んでいる。



「当てはまる」「ほぼ当てはまる」と感じているのは、保護者も児童も90%を越えています。引き続き、コロナウイルス感染症対策として、手洗いを徹底させていきます。また、避難訓練では、緊急地震速報から実際に地震が起こるまでの時間等も考慮し、実状に即した形で訓練を行い、児童の意識を高めていけるようにします。

#### 7 家庭との連絡・連携

保護者： 学校は、各種たよりや懇談会、ホームページ等で、学校の様子を伝えるようにしている。  
児童： おうちの人に学校からの連絡を伝えている。



今年度、10月から欠席等の連絡をきずなネットで行うようになりました。各種たよりや学校からのアンケート等についても同様です。今後、学校ホームページときずなネットでの情報発信を整理し、学校の様子を保護者の方により分かりやすく伝えていきたいと思えます。

また、児童・保護者・教職員のアンケート結果を基に、外部の学校評議員の方による学校関係者評価を行い、下のようなご意見をいただきました。

授業参観を見て、子どもたちがタブレットを活用しながら発表している姿に感銘を受けた。昨年度から本格的にタブレットが活用されるようになったと聞いているが、今後も効果的な活用を進めてほしい。一方で、SNSをはじめとしたインターネット上のトラブルが話題になっている。インターネットの活用に関しては、一長一短があるので、情報モラルの面で子どもも保護者も学べる場があるとよい。

教育相談体制においては、学校は生活アンケートや教育相談の実施、スクールカウンセラーによる4年生の子どもたち一人一人との面談等で子どもたちの心に寄り添っていることは評価できる。子ども応援委員会をはじめとした外部とのつながりも考え、今後も、子どもたちが困ったら相談できる体制を整えてほしい。

多様化する社会に適応していくために、学校でも型にはめた考えではなく、子どもの個性を大切にした教育を進めてほしい。

今後も、学校との連携のもと、子どもたちに有益となるよう協力していきたい。

お寄せいただいた評価とご意見を参考に、児童や保護者・地域の期待に応える、よりよい教育を目指していきたいと思えます。